

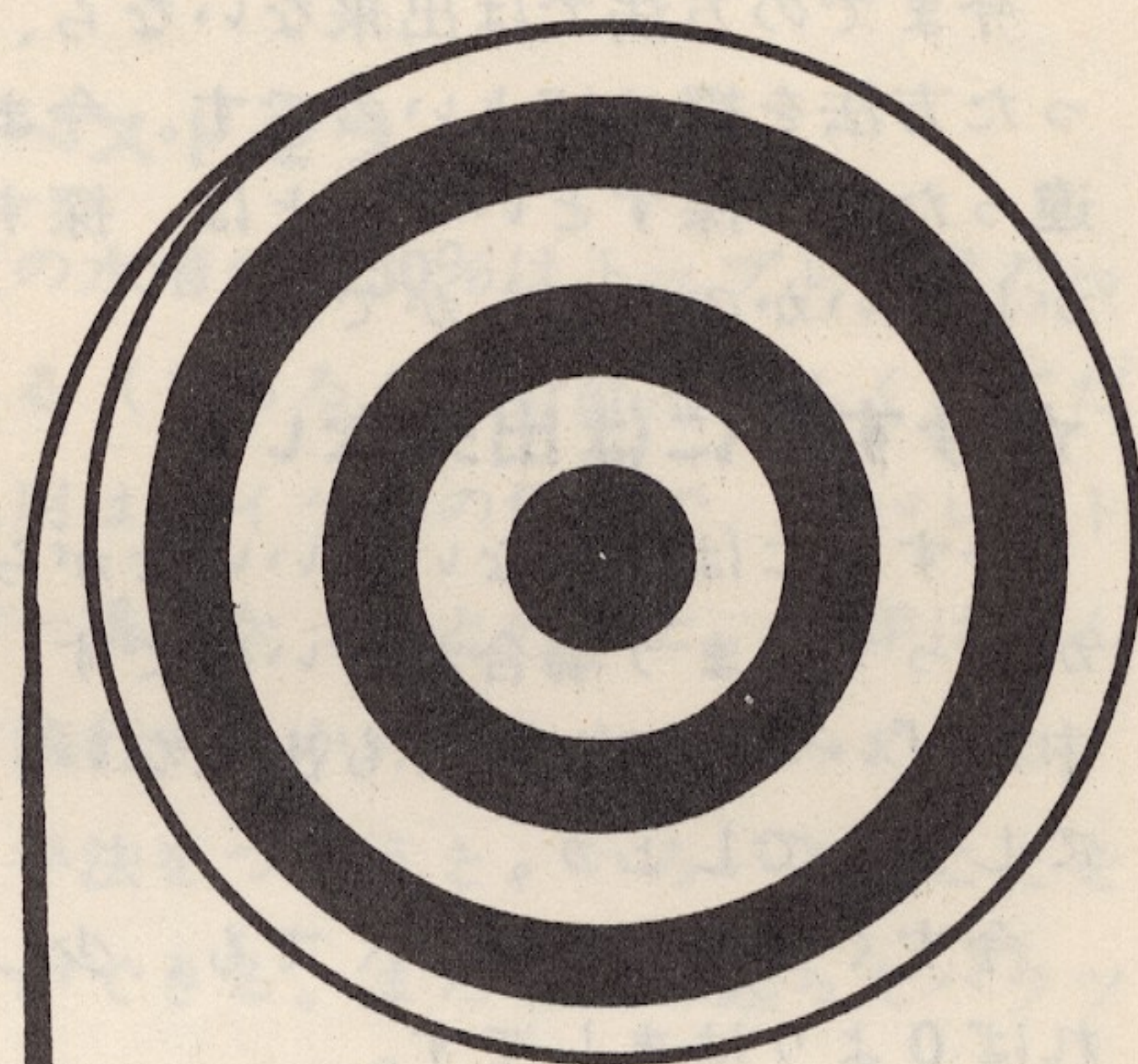
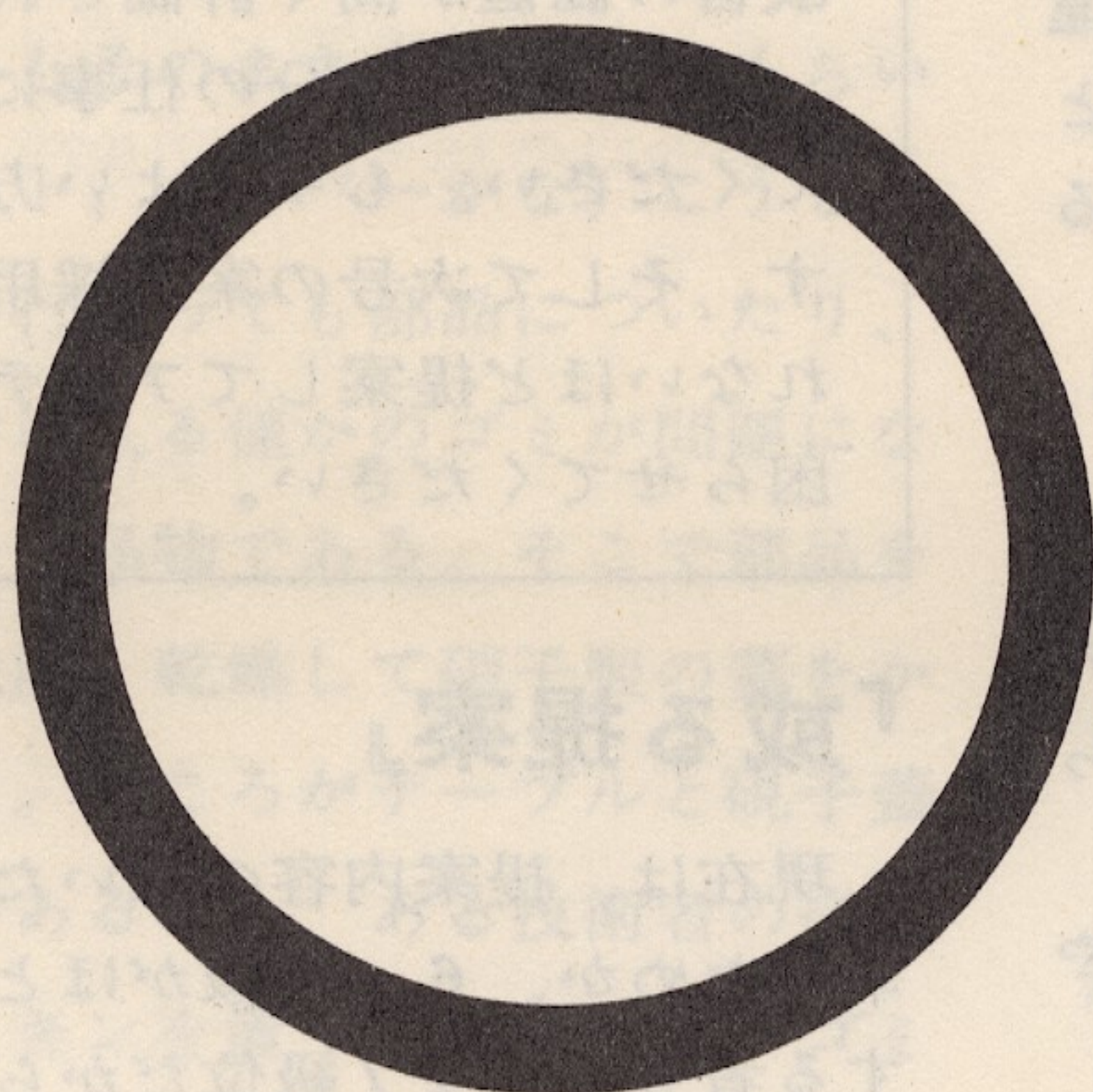


IDEA

1968.10

22号

提案制度運営委員会 • 発行責任 担当委員



今期のテーマ

品質向上

あなたの仕事の結果を

あなたが保証するには？

道具は使い易いですか？

定期点検のやり方は？

もっとよい方法はありませんか

ペトリカメラ株式会社

今月は提案月間です

——みんなで考えましょう——

—私には出来ない— 3つの型

何か事を行なうにあたって、私には『出来ない』という人が案外多いのに驚かされます。

出来ないこと。——それは三つに大別されます。

☆今までの方法では出来ない

今までの方法では出来ないなら、今までと違った方法を探せばよいのです。今までの方法と違ったのを探すということは、探すことをするかしないかのどちらかです。

☆今すぐには出来ない

今すぐには出来ないといいながら、何日も日がたってしまう場合が多いのです。そしてその中に「いつまでたっても出来ない」ことになってしまうでしょう。

今すぐ完全に出来なくても、少しずつでもやれば0よりはましです。

今すぐ出来ないものこそ、いまから手をつけなければなりません。

☆自分ひとりでは出来ない

自分ひとりの力には限界があるし、自分の力を基準にして物事を判断する場合、すぐに「出来ない」という答が出てしまうことがあります。

最初から他力本願ではいけないが、自分ひとりで出来ないなら友人、上司、家族など、誰とでも相談してみることです。

今月は提案週間の月です。

少なくとも「出来ない」という言葉は避ける様にしましょう。

何故、出来ないかを考えましょう。

そして、困った困ったとって苦しみましょう。

困らない人は自分の環境に満足しているか、アキラメている人です。困ったら何故困っているかを考えましょう。それが次の解決への糸口になるのです。

週間は習慣に通じなければなりません。

出来ないことを出来るように習慣ずけて考えられる人は、恐らく毎日が本当に楽しくなることでしょう。

◆お知らせ

夏の疲れからか、9月の提案案件はナシという淋しさでした。史上最低の記録とは大変残念なことです。

増産のため、連日忙がしい思いをされていることと思いますが、こうした時にこそ、改善の価値が高く評価される時なのです。

もう一度、自分の仕事について考えてみてください。もっとよい方法があるはずですよ。そして次号の案件採用紹介欄に載せ切れないほど提案してアイデア誌編集担当を困らせてください。

『或る提案』

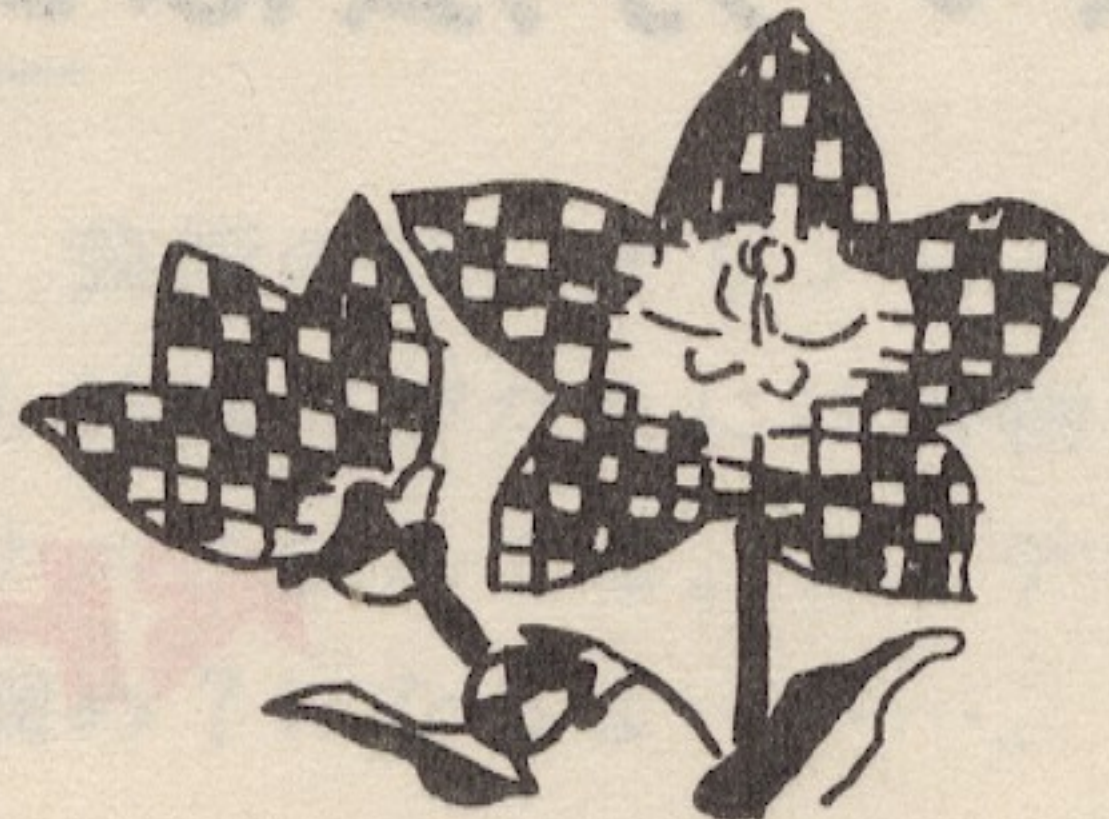
現在は、提案内容の低いためか、その評価の幸いためか、6・7級がほとんどであり、提案する者もどうせ7級位だから出すほどのことでもない、又上司その他から、もう少しましなものを出せないのかと言われてたり、言われはしないかと思ったりと言うことで、提案しない人、しようと思わない人がいるのではないのでしょうか。

これでは提案制度の主旨に反すると思います。アイデアを開発するには、どんなアイデアでも頭の中に引っ込めておかないで外に出すことが必要であります。

そこで提案の評価を得点累計制にし、例えば1級は10点～7級1点という様にして、ある得点に達したら記念品を授与するとか、あるいは、一定期間の得点累計で表彰するという様にしたらいかがでしょうか……。

そうすれば例え7級位だろうと思っても提案しようという気になるかもしれません。とにかく質より量を歓迎しなければ、だんだん提案をしなくなるでしょうし、その内容の向上も期待できません。下手な鉄砲も数打ちゃ当たるとい言葉が当てはまると思いますが、如何がですか？

(T・W)



カイゼンとカイアク

その1

下手の考え休むに似たり

＝ゴミとゴムパッキン＝

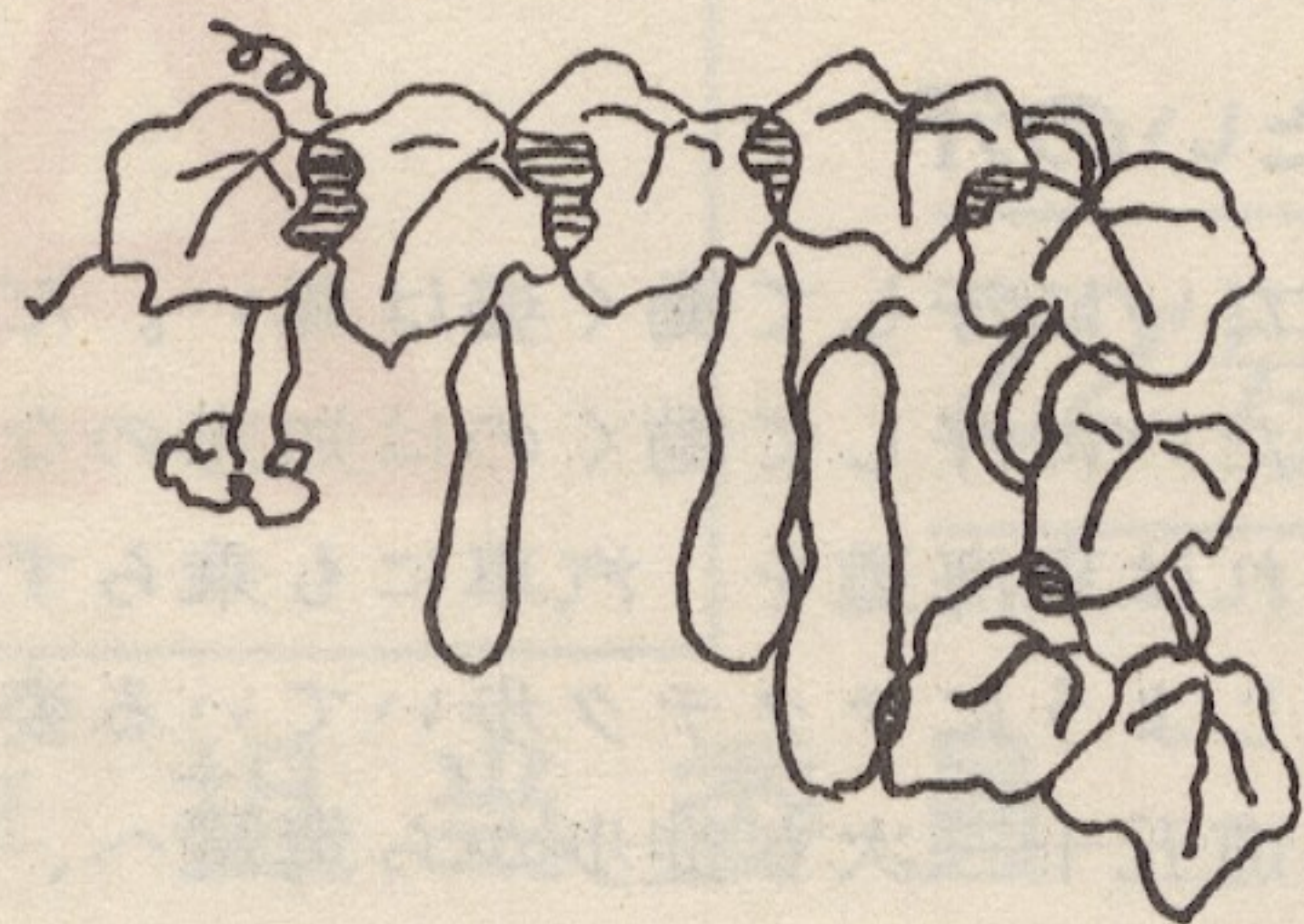
精密機械の組立工場の話である。(わたしたちのところかな……) この製品は極度にゴミをきらう。そこで室を非常にきれいにし、床に落したサンドイッチもそのまま食べられるくらいであった。(チョット、オーバーかな) こうした環境の中で組立を行なっても部品についたり、組立てた製品の中に入る僅かのゴミが問題になるというやっかいな品物である。そこで部品を取扱った後よく洗滌、乾燥して硝子製の蓋をかぶせることにした。ところがテーブルと硝子蓋との間にすき間があるため、ある技術者の提案でここにゴムパッキンを置くことにした。ゴミにたいしてはまずこれ以上の防ぎようは考えられないというところまで注意したのである。

＝サビの真犯人は？＝



ゴミの問題はこれで一応解決したが、こんどは製品に原因不明のサビが発生し大問題になった、そこでいろいろ調べた結果、ゴムの中から硫黄分を含むガスが出て、これが硝子蓋の中にたまって製品をさびさせるということがわかった。これなどはゴムのパッキングとしての性質だけを考慮してその他の性質を考慮しなかったためにおきた失敗である。

実行を決意するまえに、もう一度考えよ！新しい方法は第2のトラブルの原因にならないか？ 他によりよい手段はないだろうか？ あわてないで、よく調べてからね……。



その2

シーソーゲーム

＝水着のベストセラー＝

今年の夏の水着の約30%はトップレス？だったそうである(もちろん、野郎用もふくめてだよ) 御婦人用はサイケ調の色彩で、セパレート型のものが一番多かったとのこと。来年はどんなタイプが流行するか今からたのしみである。

統計的な手法をつかうと、いろいろなことを調べることができる。また現実に行ったバラツキから生産工程を改善するという方法ではいまままで多くの職場がかなりの成果をあげてきている。しかし、これからさらに工程を改善すると、技術的な知識とのからみ合せが問題になるだろう。

＝セイテはコトをシソンジル＝

あまり技術的な知識がないと、どんなデータをとってどう解析してよいかわからない。早合点は大怪我のもとである。

しかし技術的な知識が進むにつれて、どこでどういう解析を行なったらよいかということがわかり効果的な手が打てるようになってくる。このように技術があったから統計的手法が使える。統計的手法が使えたから技術がさらに向上したという実例は少なくない。

世の中、もちつもたれつだね……。

(H)

働き方のくふう

ひたいの汗

ひたいに汗して働く姿は尊い。だがいつまでもひたいに汗して働くのは知恵のない話である。

それは東海道を、汽車にも乗らず、やはり昔と同じようにテクテク歩いている姿に等しい。東海道五十三次も徒歩から駕籠へ、駕籠から汽車へ、そして汽車から飛行機へと、日を追って進みつつある。それは、日とともに、人のひたいの汗が少なくなる姿である。そしてそこには、人間生活の進歩の跡が見られるのではあるまいか。

創意とくふう

人より一時間よけいに働くことは尊い。

努力である。勤勉である。だが、いままでよりも一時間少なく働いて、いままで以上の成果をあげることも、また尊い。そこに、人間の働き方の進歩があるのではなかろうか。

それは創意がなくてはできない。くふうがなくてはできない。働くことは尊いが、その働き方にくふうがほしいのである。創意がほしいのである。ひたいに汗することを讃えるのもいいが、ひたいに汗のない涼しい姿を讃えるべきであろう。

怠けろというのではない。楽をするくふうをしろというのである。

—PHP—

“意気に感ずる”の功罪

一般に、ドイツ人の物の考え方は『組織的体系的』であり、アメリカ人は『实际的行動的』であり、日本人は『感情的排他的』であるといわれている。国民性の相違であるから、どおなるものでないとあきらめてしまえばそれまでであるが、『意気に感じて』とか、『あの人のためなら』という行動要因は『頭の中で、チミツに組立てられたものではなく、カラダ全体で感じとった所産』なのである。

このような『義理人情的な考う方』が、企業内活動にどんな影響をもたらしているかは諸氏の想像におまかせするが、しかも『それがアタリマエである』というマンネリズムに陥っている事実は、現存企業の近代化を大きく阻んでいるとも云われている。

(H)

頭の体操

先入観

10月10日は体育の日です。体をきたえたあとには頭の中味もきたえましょう。

A君は日曜大工



に使う長さ6mの角材を買って家路につきました。『なるべく近道をして帰ろう』A君は巾2mの路ジを家の近くまで来て“シマッタ!!”と思いました。その路ジは高さ5mの石壁がちょうど勝手口の10m手前で90度の角度に曲っているのです。

さて、A君はこのまゝ勝手口から入ることができるでしょうか……それとも一旦、表通りまで引き返して玄関口に廻らねばならないでしょうか？

A君のために考えてあげてください。

(H)

あなたならどうしますか？

ある工場で不良退治運動を始めた。不良率の高い工程を洗い出して要因図を作ったり、過去のデータをしらべたりして、どうしたら不良率が減るかを夢中になって考えた。

その中で、ある製品は1日のうちで始めのうちは良いものができるが、時間がたつと不良率が上昇するということがわかった。そこで不良率が上昇し始めると生産を中止することにした。これで一応不良率は下った。ところがこの製品は一定の数量が要求されている、そのために不良率は下ったが、量の点で需要者の要求に応じられなくなってしまった。この製品は作ればいくらでも売れるものなのである。

あちら立てればこちらが立たずだが——。

根本的には生産を減少させないで不良率をへらす方法を考え、応急的には、不良の減少と生産の低下を考え合せ、ロスが最少になる点はどこかを見つけださねばなるまい。

みなさんなら、どうしますか……？

(H)

●コーナー

読書の秋、芸術の秋、オリンピックの秋である。テレビも結構だがたまには書物も読んでくれよ……。ナニ！読んでる。アイデア22号、結構、々々。溜め？になるよ……。